

令和元年度インテリアプランナー試験  
「設計製図試験」の合格基準等について

■ 「設計製図試験」

課題名	地方都市にあるホテルのロビーのインテリア
採点のポイント	<p>(1)計画力①(機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各所要スペースの面積・形状</li> <li>○ゾーニング</li> <li>○動線計画</li> </ul> <p>(2)計画力②(寸法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○動作域を考慮した寸法</li> <li>○家具・器具等の大きさ</li> </ul> <p>(3)表現・演出力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計画内容を正確に他者に伝達する能力</li> <li>○形・材質感・色彩を表現してイメージを他者に伝達する能力</li> <li>○建物の性格を理解して、空間をそれにふさわしいものに演出する能力</li> </ul>
採点結果の区分	<p>採点結果については、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階区分とする。</p> <p>ランクⅠ：「知識及び技能」*を有するもの          ランクⅡ：「知識及び技能」が不足しているもの          ランクⅢ：「知識及び技能」がかなり不足しているもの          ランクⅣ：要求図書の書込みが明らかに不十分なもの</p> <p>*「知識及び技能」とは、インテリアプランナーとして備えるべき「インテリアの設計に必要な基本的な知識及び技能」をいう。</p> <p>○なお、採点の結果、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのそれぞれの割合は、次のとおりであった。          ランクⅠ：23.5%、ランクⅡ：33.4%、ランクⅢ：34.0%、ランクⅣ：9.1%</p> <p>○受験者の答案の解答状況          ランクⅡに該当するものについては、各所要スペースの広さ・形状・相互のつながりを、機能的に計画・構成する能力が不足していると考えられる解答が多かった。          ランクⅢに該当するものについては、全般的な能力が不足していると考えられる解答が多かった。</p>
合格基準	採点結果における「ランクⅠ」である者を合格とする。